

2013年5月吉日

開発に8年！

『ほほのたるみ・線アツプ美容液』“プリムディア”発売を記念して

5月26日（日）テラスモール湘南にて

仁科亜季子ビューティトークショーを開催

会場：テラスモール湘南1F北アトリウム

13:00-13:40 / 15:00-15:40（2回）

仁科亜季子さん・仁美さん親子が出会い愛用する、「ほほのたるみ・線アツプ美容液、プリムディア」の発売を記念して、「親子ビューティトーク」を開催します。トークには、8年の歳月をかけて開発した山口葉子先生を交え、画期的な美容液・プリムディアの効果、誕生秘話を、仁科親子の美を、トークショーで繰り広げます。



仁科亜季子さん



仁科仁美さん

商品名：プリムディア

（線アツプ美容液）

価格：3,990円（税込）

容量：約15g（約1ヶ月分）

＜プリムディアの特徴＞

α-リボ酸をナノ・カゼセル化した成分 “カゼセル型α-リボ酸” 配合で睡眠中の肌をしっかりとリしたヴェールで包むリフトアップ美容液。寝ている間に肌の奥までじっくりと働きかけ、肌全体を引き締め、目じりや目の下、口元、フェースラインもキキキとした張りのある肌へと導きます。同シリーズ “ダイヤフオースゴールド” との併用でより効果を実感いただけます。



＜プリムディアの美容成分＞

■ カゼセル型α-リボ酸

「α-リボ酸」を、国内で初めてナノ・カゼセル化したナノエツグ社の独自成分。エイジングサインが気になり始めた肌へ、ナノ化により角質層までスツと入り込み、気になるエイジングサインにアプローチ、ほうれい線が驚くほどひき上がります。弾力あるハリと輝くようなツヤのある肌へ導き、肌が蘇ります。美容成分として非常に注目が高まっています。

■ コエンザイム Q10

コエンザイム Q10 (ユビキノン) とは、別名ビタミン Q とも言われる脂溶性のビタミン様物質。肌ハリやうるおいを与え、美肌のカギを握る大切な成分で、キメの整った滑らかな肌へ導きます。しかし、20歳をピークに減少してしまうため、補うことが大切です。

■ RESISTEM/レジスタテム (グロブアラリアコルジホリアカルヌ培養液) : エイジングケアボテイガード成分

表皮幹細胞を守る植物エキス。高山という厳しい環境下に生息するグロブアラリアコルジホリアから得られる植物抽出液。皮膚を保護し、みずみずしく輝きのある素肌に整えます。(肌に透明感を与えます。)

■ EMプロテイン：加水分解卵殻膜

25歳を境に減少するⅢ型コラーゲン (別名ベビーコラーゲン) をサポート。赤ちゃんのようなみずみずしくふつくとした肌に整えます。

■ クレアチン+CoQ10 (ユビキノン)

肌力を高めて皮膚へ美容成分が届きやすい*肌状態に整えます。皮膚のエネルギー供給をスムーズにし、肌が本来持つバリア機能をサポートします。ハリのあるみずみずしい素肌に整えます。

*角層まで

＜ご使用方法＞

化粧水、乳液でお肌を整えたあと、適量を手に取り、目じりや目元、口元などエイジングサインの気になる部分を中心にやさしくなじませます。
その後、同シリーズダイアフォーメーションゴールドを気になる部分にのせて密着させてください。

＜全成分＞

水、シクロペンタシロキサン、グリセリン、スクワラン、BG、ペンチレングリコール、DPG、ポリアクリレート-13、水溶性コラーゲン、ヒアルロン酸 Na、加水分解ヒアルロン酸、チオクト酸、ユビキノン、クレアチン、加水分解卵殻膜、グロブulariacolジホリアカルヌ培養エキス、グリチルレチン酸、グリチルリチン酸 2K、ポリイソブテン、水添レシチン、エチルヘキサノールセチル、PEG-60 水添ヒマシ油、コレステロール、ポリソルベート 20、イソステアリン酸ソルビタン、(ジメチコン/ビニルジメチコン) クロスポリマー、ステアレス-20、フェノキシエタノール、BHT、水酸化Na、塩化Mg、炭酸水素Na、トコフェロール

開発者

株式会社サノエツダ 代表取締役社長
山口葉子プロフェッサー

ダウユニオン株式会社、横浜国立大学大学院人工環境システム学に勤務後、聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター先端医薬開発部門 DDS 研究室に所属（現職）。科学技術振興機構プレベンチャー事業サントリーダーを経て、2006年4月に株式会社サノエツダを設立、代表取締役社長に就任、その後取締役研究開発本部長を経て2011年3月より代表取締役社長に再任。
ドイツ Bayreuth (バイロイト) 大学自然科学群 (Prof.Dr.H.Hoffmann) 卒業、理学博士。



この商品に関するお問い合わせ先：株式会社 Dina Dina (ダイナダイナ)

Tel:03-3405-7890 Fax:03-6804-1803

担当：藪垣 加津子 / 遠藤 眞実

E-mail: yabugaki@dina2.co.jp

E-mail:manniendoc@mtruth.co.jp

- 補足資料 -

＜α-リボ酸の一般的な効能＞

α-リボ酸はもともと私たちの体内に存在しているのですが、残念ながら老化に伴って段々減ってきてしまいます。α-リボ酸が減少した結果、基礎代謝が衰え、また体内の酸化が進んでしまいます。するとどうなるかというと、若い頃より太りやすくなったりお肌にしわやしみが出てきたりするのです。

このα-リボ酸は、なかなか食事だけで必要量を補給するのは困難と言われています。ですから、気軽に必要量が補給できるようにサプリメントが数多く製品化されているのです。

＜α-リボ酸の特徴と発見＞

α-リボ酸がシミやシワの改善に効果があるということはあまり言われていませんが、同チームが臨床研究した結果、α-リボ酸が皮膚の各細胞に対し抗酸化効果以外の薬理効果である繊維芽細胞への作用が見出されました。その結果、コラーゲンやヒアルロン酸の産生を促し、光老化によるシワ・表情ジワの改善効果や、加齢によるたるみか原因と言われるほうれい線の顕在化（鼻の両脇から唇の両端に伸びる二本のシワ）に対する改善効果があることが実証されています。ただし、αリボ酸を使用するにあたっての難点がありました。その難点とは、光に弱い性質、水溶性のものに溶けにくい性質、硫黄臭がするというものです。

＜α-リボ酸をカプセル化するメリット＞

そこで同チームは、独自のカプセル化技術を使い、α-リボ酸のナノレベルでのカプセル化を研究し、そのことにより、より肌浸透しやすく（より肌の性質と似た状態）、患部にα-リボ酸を的確に届け（DDS技術）、安定性が向上し、シミ、シワの改善効果がアップすることに成功しました。

また、カプセル化したことにより、通常上記薬理効果がある薬剤では、赤みやただれなどの炎症反応の副作用が起きる事例が多い中、カプセル化することによりそのような副作用が非常に少ないことも明らかになっています。